

Kids art for Fukushima

「横浜の子供たちが福島の子供たちをアートで応援する」

東日本震災後の福島原発の事故の影響で福島県南相馬市原町区にあるよつば保育園は緊急時避難準備区域内(20~30キロ圏内)にあるため、ただいま休園しています。しかしこの地域に家族と住むこと決めた方や仕事の関係で住んでいる方がいます。そして保育園を必要としている人がいるのです。その要望をかなえるために安全区域(30キロ圏外)の鹿島区において臨時保育園を開園したのです。ここは市内の私立保育園三園(よつば保育園・北町保育所・原町聖愛保育園)が合同で保育しており、呼称は『なかよし保育園』と呼んでいます。

今回のイベントはその南相馬市にある保育園の子どもたちを横浜の子どもたちがアートで元気や笑顔を贈るアートイベントです。イベントに来られた子供たちや家族のまっすぐな気持ちをTシャツというキャンバスに載せて南相馬の子供たちへ思いを贈ります。子ども用Tシャツをノースポートに来られた親子さんに2着分購入して描いてもらい、そのうちの一つは持ち帰っていただき、もう一つは被災された福島南相馬の子どもたちにお届けするイベントです。描いていただいた作品は直接、スタッフが責任をもって南相馬まで手渡しに行きます。横浜の子どもたちと南相馬の子どもたちが元気なアートで愛情が繋がっていければ素晴らしいと思います。



日時 : 2011年8月13日(土曜日) 11:00~18:00

場所 : ノースポート・モール(2F センターコート)

参加費 : 2000円(Tシャツ2枚+ワークショップ)

支援先 : よつば保育園・北町保育所・原町聖愛保育園(福島県南相馬市)

本イベント主旨は「家族」「仲間」や「人」が繋がる。手を取り合って助け合おうと工房 mapa のおもちゃ「mapa casa」のように家族の大切さを感じてもらえればと思います。実際被災している、よつば保育園の副園長の近藤さんがブログで書いているように、今回の震災で家族の絆や人の関わりが大切なのを改めて感じたそうです。それは被災していない家族も感じてもらうことも大切だと思います。(以下ブログから抜粋)

「この大震災が、家族を見つめなおすいいきっかけになったという保護者もいます。危険に対し、家族みんなで立ち向かっていく…そんな家族を私は応援しないではられません」

「この大震災が、子どもをそして家族を強くしているのだと最近つくづく思います。いいチャンスもらったね。とか言いながら、前向きに生きてますよ。家族の絆、園と家族の絆、社会との絆が強くなっている…それが、目に見えるのがとてもうれしく感じるので」

「人は励まし、励まされ合って生きていけるのだと思います」

